

奉 禮 習 以 陳 十 同 志 社 子 伴 上 園 上 一
 廟 堂 多 子 今 日 類 三 肉 上 中
 配 上 慮 可 專 類 以 隨 上 上 上 給 上 上 上 上 上
 乍 能 回 去 社 云 云 今 日 之 實 云 危 危 危 危
 秋 云 云 安 危 之 決 一 一 肉 上 中 監 處
 在 上 上 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中
 片 配 慮 以 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中
 中 參 考 也 也 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中
 美 出 下 上 中 下 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中 中

公文、特ニテハ無之 閣ニトシ内密ニ立
シケレバ其言ニ又チ事ヲ示シテ也 其旨ハ

十月廿日

横井時雄



伯爵大隈重信殿

閣下執事

同志社事件ニ関シ米國委員ト
談判ノ概要

第一回ノ會見ニ於テ米國委員カ主張セシ
知ハ曩ニ同志社カ其細領ヲ改正セシコトハ
米國寄附者ノ依托条件ヲ破リタルノ處置ニ
シテ不法ノ行爲ナリト云フニアリ更ニ語ヲ續キテ曰ク
若シモ今ノ爭論ノ局ヲ平和ニ結了セント欲スルナラ
ハ社員會ハ宜シク先ツ細領ヲ其舊態ニ復ス
ベシ然ラサルニ於テハ到底善后策ニ関シテ協議

スルコトヲ得ヘカラスト

第二回ノ會見ニ於テ社員ハ同志社事件ノ真相ヲ説明シ綱領ノ改正ハ基督教ヲ排斥セントスルノ意ニ出テタルニ非シテ卻テ基督教主義ノ教育ヲ一層十分ニ奉行セント欲スルノ主意ニ出テタルコトヲ辨明シ以テ社員ノ精神ヲ開陳セリ且ツ旧綱領ノ性質タル素ト同志社ノ負ノ合意ニヨリ成文セルモノニシテ同志社カ奉ケント欲スルノ事ノ目的ヲ及發表セシモノニ外ナラレハ其文字ノ改削ヲナセリトテ(寄附者ノ希望ナル基督教的教育ノ目的ヲ維持シツアルニ

固ハ之ヲ直クニ目シテ依托ノ條件ニ背ケリト謂フノ不道理ナルコトヲ論証シタリ且又民法實施ト同時同志社ノ性質ヲ明白ニ從來ノ社方ヲ永久ニ確定スルノ必用アルカ故ニ從來ノ同志社憲法(所謂綱領モ其中ニテリ)ヲ改正セサル可クトナシ昨年七月ヨリ委員ヲ撰定シテ改正案ノ起草ニ着手セシメマツ、アリシガ昨今ニ至リテ漸ク脱稿スルニ至リレコト并ニ曩キノ綱領改正ハ迅速ニ於ケル一事俾ニ追キスシテ改正新憲法實施ノ曉ニ綱領本來ノ精神モ益々公明ニ發揮セラル、ニ至ルベキコトヲ告ケタリ茲ニ於テ半國

委員モ意ヤ、解ケタルモノ、如ク頃ニ其態度ヲ更
メテ告ケテ曰ク過去ノ問題ニ付テ論争スルヲ休メテ
直キニ改心草案ニ付テ協議スルモ不可ナシト
相改正ノ案ニ就キテ再三協議會ヲ開キ経過頗ル
良佳ナリシガ竟ニ此マタル一糸項ヲ加フベシト云フト
加フヘカエト云フトノ争ノ為ニ平和ノ終局ヲ見ルニ至
ラズシテ今日ニ及ヘルハ真ニ遺憾ノ事ト謂フベシ此ニ
タル一糸項トハ尤ノ教文字子コレナリ

「同志社理事ヲ存ハ本寄附行為ノ規定ニ由ルニ非サレハ
学校ヲ起シ若シクハ他ノ教育ヲ兼從スルヲ得ズ」

米國委員ハ是亦トモ右ノ文字若シクハ右ノ主意ヲ含
メル文字ヲ改正草案中ニ添加スベシト請求シ社
員會ハ之ヲ加アルコトヲ肯セザルナリ是レ最後ニ
於ケル争点ナリトス

抑モ社員會カ右ノ一糸項ヲ添加スルコトヲ肯セザル
ハ二ツノ理由アルニ基クナリ第一ハ同志社理事會ガ
其憲法ノ規定ニ遵由セシテ学校ヲ起シ若シクハ他
ノ教育ヲ兼從スルヲ得ズト云フコトハ本^議寄附
行為ノ性質上自明ノ道理ニシテ素ヨリカ、ル糸
項ヲ置クノ要ナキ耳ナラズ殊更ニ之ヲ加ヘントスルハ

徒ラニ蛇足ヲ加フルノ笑ヲ買フニ違キサル可キコト是レ
ナリ第ニ理由トハカ、ル条項ヲ加フルハ曩（細録中ヨリ）ニ刪
除セラレタル「本社ノ各学校ニ悲ク本社ノ通則ヲ
適用ス」ト云ヘル文句ノ主旨ヲ殊更ニ復活シタル
カノ嫌疑ヲ惹起スルノ恐レアルコト是レナリ勿論此ノ
一項タルヤ解釈ノ致シ方次第ナリハ必スシモ「適用」
ノ復活トハ見做スベキニ非スガレハ蛇足ナレハトテ強イ
テ添加ヲ拒絶スルノ必要ナキモ若シモ不幸ニシテ文
部省ヨリシテ復活ノ意味ヲ含蓄スルモノト見做サル、
時ニ同志社ニ取リテハ非常ナル不承ヲ見サル可キナル

ニ至ルモ計ル可キ事ナリ前ニ刪除シタルモノヲ復活シ
タリトテ何ノ差支モ乏ナカルヘキ筈ナレハ元來「適用
云々」ノ一句ヲ刪除セシコトハ敢モ直サズ文部省カ
徴兵猶豫ノ特權ヲ害フルニ必用条件ト認定セ
シモノナレハ今ニシテ之ヲ復活スルト云フハ即チソノ必要
条件ヲ撤回シタルモノト見做サル、ニ至ラシコト敢テ疑
ヲ容レヌ而シテ果シテコノ条件ヲ撤回シタルヲ名トシテ
徴兵上ノ特權ヲ取上ケラル、ニモ至ランカ同志社ハ
事ヨリ其處分ニ對シテ一言ノ抗辯ハモ酬フル能ハ
ザル又キナリ以上二個ノ理由ニヨリテ半因委員ノ最後

ノ要求ヲ拒絕シタリコト式ハ社長ノ把愛ニ由リキサル可
キナルヲ如シト云モ寧ろ同社ニ在ルメニ最モ安全ナル位置
ヲ占メント欲シテ此ノ如クナレタルナリ

東國委員ノ自白ニヨリハ彼等ト云モ亦タ誤一カホヲ
加フルコトハ箱ニ蛇足ニ類スルコトナルヲ知レリ知リテ
尚ホ之ヲ加フルコトヲ主張スル所以ハ彼等ガ腦中ニ
旧綱領摺括ト云フコト已テ先入主トナリ居ルコトナ
レハ彼等カ形式ニ指示シテ以テ此文字コソニ適用
云々ノ摺括ナレト云ヒ得ベキ条目ヲ加フルヲ必用トス
ルニ由ルニ似タリ然レドモ已テ形式上綱領ノ摺括

ヲ要求スルコトヲ体メテ事實上綱領ノ精神ノ
具備スルアルヲ以テ是レトナスノ立場ヲ取ルニ
至レル以上ハカナル区々タル形式論ニ拍泥シテ強
クテ蛇足ヲ加ヘントスルハ甚タ其意ヲ得サル如ク
東國委員ト又々同社ニ自白シテ自宗獨リタリノ讓歩ヲ
ヤシ社員ト又々讓歩セシコトナレト主張スルニ似タリ
然レハ試ミニ先方ノ立場ニ立テテ談判ノ結果ヲ見
レハ寧ろ同社ニ大ニ讓歩ヲナシタリト云フ
ベキナレ蓋シ社ニ半國委員ハ綱領全目ノ永久
不變ナルベキヲ主張シ其保証ヲ請求セシニ

新憲法草案ヲ審査スルニ當リ 憲法行為ノ性質
上帝國は神ノ保証ヲ有シテ其自ラ永久不變ナル
又キコトヲ知レリ 即チ彼等ハ未タ一言ノ要求ヲモナサ
サルニ當リ座シテ其最大ノ要求ヲ満足スルヲ得タリト
稱フヘキナリ 米國委員ハ改正草案 十六條ノ文字ノ
改正ヲ要求セシニ社員會ハ直チニ其請ヲ容レテ改正
ヲ加ヘタリ之ヲ要スルニ諒ニ此ニタル一文句即チ米
國委員自身モ道理上強キテ加フルノ必用ナレト
白狀セル一文句ノ添加ヲ請求スルヨリ以外ニハ
一事ノ要求スルコトナキ程ニ今固ノ改正草案ハ彼

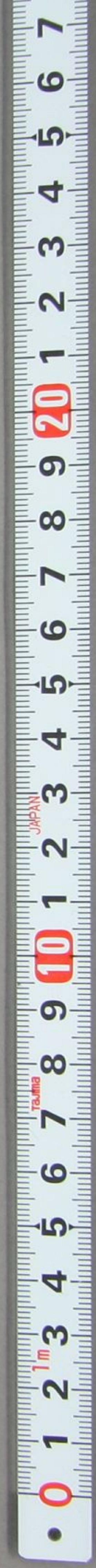
等ニ満足ヲ與ヘタリト 認定セサル可クニ 然レハ彼等
ニシテ若シ能ク本邦現時ノ状態ヲ審カニシ同志
社ハ此間ニ立チテ基督教的教育ノ業ヲ舉ゲン
ト欲シテ未ダニ辛苦經營シテアルカラ審査セハ
談ノ些ニタルニ要求ノ如キハ之ヲ撤回スルモ亦タ彼
等ノ面目ヲ損スルコトナキヲ信スルナリ

伯爵大隈重信殿

致东野表展

至意。

同前此



8

卷之五
房山
西
書
方

橫井
時
礎